

令和4年度宇治市産業振興会議（要旨）

日 時	令和5年1月23日（月） 18:00～20:00
場 所	宇治市産業会館1階 多目的ホール
出席委員	白須正（会長）、川勝健志（副会長）、西村嘉高、徳永興輝、本永治彦、斉藤洋子、椎葉啓之、吉田利一 計8名
議事要旨	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 副市長挨拶 副市長挨拶後、会長・副会長の選出。会長は委員互選により白須委員を、副会長は会長からの指名により川勝委員を選出。</p> <p>4 会議の公開について 委員に会議公開について諮り了承。</p> <p>5 議 事 （1）宇治市産業戦略 改訂版 具体的な取組内容とその進捗状況 事務局から取組の柱【（1）（2）】、【（3）（4）】、【（5）（6）】ごとに進捗状況について説明</p> <p>■ 取組の柱【（1）（2）】 委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者に対するメールマガジンの発信について、登録件数の伸び悩みが課題としているが、相手のニーズに合わせた様々な情報発信手段の検討が必要。</li> <li>・宇治 NEXT としての取組は他の市町村では見かけないので続けていって欲しい。</li> <li>・2025年の万博を見据え、事業者の理解を得るのは難しいだろうが「キャッシュレス100%のまち」に出来れば多くの観光客が来る。</li> <li>・京都府でも総合計画の中でフードテックを掲げている。都市農業エリアとして、農業や食に関係するような企業に対する支援の仕組みもあったほうがいい。</li> <li>・人材育成の取組について、先進的な取組内容を他の企業にも紹介する仕組みもあったら良い。</li> </ul>

(事務局コメント)

- ・いろいろな媒体で情報をキャッチされる方がおられる。そのため、場合によっては紙での情報発信ということも非常に重要であると認識している。
- ・キャッシュレスの推進については事業者の負担も考慮しながら、商工会議所と連携しながら検討を進める。
- ・オープンファクトリーについては、引き続き精力的に取り組んでいく中で、高校生をターゲットにする内容も一つの案として検討していきたい。

委員

- ・産業立地検討エリアの内、市道宇治槇島線沿道地区、市道宇治白川線沿道地区への産業立地の調査検討は、「検討をした」のか「これから検討を行う」のか、いずれか。
- ・スマート農業技術導入支援事業についての支援実績は。

(事務局コメント)

- ・現在は国道 24 号沿道地区での産業立地に向けて取り組んでいる状況。市道宇治槇島線沿道地区、市道宇治白川線沿道地区への産業立地については今後検討を行うことで考えている。
- ・イチゴ農家が、空気中の水分量や水蒸気量を自動的に調整するような機械を導入することによって収穫量を上げていく取組に対し、ハウスの設置について支援を行った。

委員

- ・事業承継の取組については引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
- ・企業訪問については保証協会でも積極的に行っているが行き届かないところもある。宇治 NEXT と連携して今後の取組を行っていただきたい。

■ 取組の柱【(3) (4)】

委員

- ・産学連携等で、中小企業家同友会でも様々なセミナー等を開催しており、他の団体でも行われている。その中で宇治 NEXT が中心となって各団体と連携が出来れば良い。

(事務局コメント)

- ・産学連携交流事業については、今年度にスタートした事業のた

め、今後、参加者へフォローアップもしながら意見を伺い、来年度以降の取組につなげていきたい。

#### 委員

- ・雇用の確保に対して、人口が減少していく中、技術革新と労働力の確保が重要。その中で女性の労働力確保に向けて、女性が働きやすい環境づくりやそのための設備投資を今後取り組むべきである。
- ・京都府では（就職してから）3年以内に離職した若者の再スタートに注力する。

#### （事務局コメント）

- ・市内企業で託児所を設置している企業もある。その様な取組をしっかりと発信していきたい。
- ・ものづくり企業合同企業説明会などの情報発信をしっかりとする他、既卒者の方にも自身の力を発揮していただけるような支援をしていきたい。

#### 委員

- ・託児所はすごくありがたいとは思いますが、結局女性が朝から晩まで働くと、現実として女性の負担が強くなる。そのため、男性も育休が取れる環境が必要。実際に育休を取った男性に話を聞いたところ2週間ほど取ったとかというようなこと。2週間では長期の休暇ぐらいの感じであり、海外の様に1年ぐらい男性も育休を取れるような環境になれば、女性も辞めずに生き生きと働けるのではないかと思う。
- ・コロナ禍で在宅での働き方も多様化した。その様な環境も、女性の働きやすさにつながる。

#### （事務局コメント）

- ・男性の育休が進むことで、女性もしっかりと社会や会社での活躍に繋がる。企業側に、しっかりと発信や案内をしていきたい。
- ・業種によってはテレワーク等が難しい部分もあるが、我々としても情報収集不足。どういった職種でどういったことが可能なのか、また求められてるのか、という部分もしっかりと研究をして進めていきたい。

■ 取組の柱【(5) (6)】

委員

- ・宇治茶まつりについて記載がないのでは。

(事務局コメント)

- ・今回は全国茶品評会が京都で開催されたため、11月19日、20日の日に消費拡大イベント「全国お茶まつり」として開催した。

委員

- ・宇治市はお茶の生産に対して十二分な支援があり、ありがたい。ただ流通や消費面で宇治市内産茶葉のアピールも必要。
- ・新規就農者に対しては、支援を実施されているが全く新しい人が新規就農しようと思ったら大変である。親が就農している後継者にも補助があると定着率が上がるのではないかな。

(事務局コメント)

- ・市も宇治市内産のお茶というものをさらにアピールしていくことが必要だと考えており、検討していきたい。
- ・新規就農者だけではなく、後継者の支援についても施策を検討していきたい。

委員

- ・産業戦略は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に策定されて、感染拡大に直面し、そしてポストコロナ期に突入する。色々なステージを経験したことにより、この戦略そのものが、それに伴って進化していくようなプロセスに入っていく。その観点や意識も必要。
- ・事業承継について、後継者や後継者候補だけではなくこれから跡継ぎを考えなければいけない現経営者にも目を向けなければいけない。先代の経営者側、或いはこれから継がせなければいけない現経営者側の話も聞く機会があった方が良い。
- ・今後交流事業については、オフラインとオンラインを有効的な活用が求められる。

(事務局コメント)

- ・先代の方の話を聞き、そこから教訓の共有や新たな学びに繋がっていく様なケースが十分に考えられる。跡を継がせた方やこれから跡を継がせる方との交流も検討してみたい。
- ・産業戦略改訂版では「交流連携の強化」を加速させていきたい。そのためオンラインとオフラインのそれぞれの強み生かしなが

ら取り組んでいきたい。

委員

・未来キャンパスについて、アイデアを述べたい。

- ①ターゲットが高校生や、或いは大学生ということであるならば、このイベントのプロモーション動画、短いものでいいので作られたらどうか。
- ②一部の大学入試で調査書が得点化されている。その際に未来キャンパスの参加が加点材料になることをインセンティブとして示すと参加者が増えるかもしれない。
- ③教育委員会との連携や調整が必要となるので少し時間がかかる話ではあるが、理想として高校の授業などに組み込めれば。

(2) 新たな経済への脅威に対応した取組の報告

事務局から取組の報告を実施。

委員から意見は特になし。

(3) 産業用地創出に向けた取組の進捗報告

事務局から進捗状況の報告を実施。

委員

・これだけの農地が無くなるので、農業振興も十分に実施されたい。

(事務局コメント)

・農業振興につきましては、農地をつなぐ人を守る、新しいチャレンジへの取組を支援する、茶業情報発信といった農業政策に基づき、様々な事業を実施。こうした取組をさらに次年度以降も発展させながら進める。産業振興だけではなく、農業もしっかりと守っていく。

(4) その他

特になし

6 閉 会

以上